さかわ未来学構想
振興計画

【令和３年度～令和８年度】

令和２年３月

佐川町教育委員会

目　次

第1章　計画の策定にあたって……1
1　計画策定の背景……1
2　計画の位置づけ……1
3　計画の期間……1

第2章　本町の教育をめぐる現状……2
1　本町の現状……2
2　学校教育の現状……4
3　社会教育の状況……7
4　文化・芸術の状況……8
5　町民意識調査……9

第3章　本町がめざすさかわ未来学構想……19
1　さかわ未来学構想の理念……19

第4章　施策の展開……22
1　本計画の方向性……22
2　コンテンツと学ぶ目的一覧……24
3　本計画における学びの体系図……34
4　学校教育におけるカリキュラム……35

第5章　計画の推進……40
1　計画の推進体制……40
2　進捗管理及び評価……40
3　令和2年度の実施事業……40

第6章　資料編……41

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景

我が国では、少子高齢化が進行し、学校規模の縮小や、地域の教育力の低下等の問題が指摘されています。佐川町（以下、「本町」という。）でも、少子化に対応した適切な教育環境の整備や、不登校や特別な支援を要する子どもの増加、学校間の連携等が課題となっています。

また、本町は、豊かな自然と歴史的景観等の文化的・教育的資源を多く持ち、古くから学問や教育を重視し、「文教のまち」として知られていますが、本町のことについて知らない子どもや住民が増加している現状があります。教育的風土の継承のためにも多様な資源を活用しながら、住民の積極的な参加のもと地域全体で教育に取り組み、郷土への愛着を持ちながら、社会に貢献できる子どもたちを育成することが強く求められています。

町の歴史や文化、自然、生活、第一次産業等の魅力的な仕事を再認識し、未来に希望を持ち、力強く生き抜くことができる人材を育成するために、本町では「さかわ未来学構想振興計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

本計画は、単に本町の歴史や伝統等を知り、郷土愛を醸成するための学びではなく、過去から現在、そして未来へとつなぐ学びとすることで、子どもたちや住民が、佐川町に生きる幸せを実感し、よりよい未来を思い描き、そのために行動できる教育の指針となることをめざします。

2 計画の位置づけ

本計画は、本町の町政運営の基本的な指針である「第５次佐川町総合計画（平成 28 年度～令和７年度）」をはじめ、「第２期佐川町教育振興基本計画（平成 29 年度～令和３年度）」等の関連する計画との整合を図っています。

3 計画の期間

本計画の期間は、令和３年度から令和８年度までの６年間とします。

また、計画の推進にあたっては、進捗状況やその成果・課題を年度ごとに検証するとともに、本町の実情や社会情勢の変化等を踏まえながら見直しを行うなど、より効果的な計画となるよう対応します。

第2章　本町の教育をめぐる現状

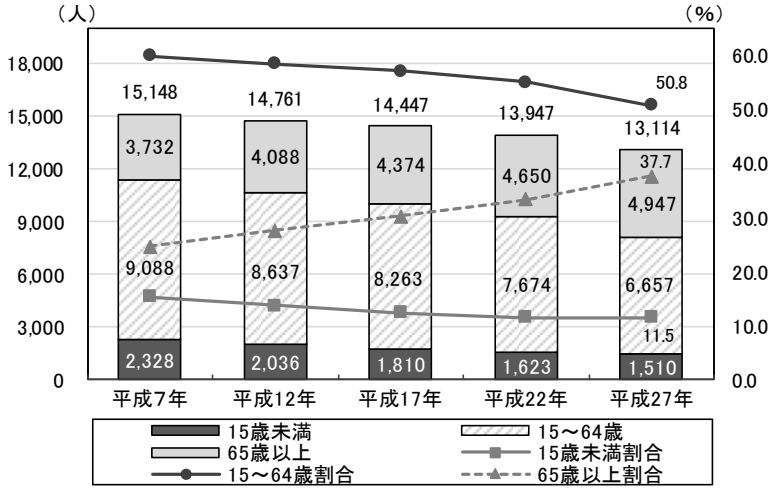
1　本町の現状

（1）人口の推移と推計

総人口の推移をみると、年々減少しており平成 27 年では 13,114 人と平成７年から 2,034 人減少となっています。３区分別人口の推移をみると、15 歳未満と 15～64 歳の人口は減少傾向にある一方、65 歳以上の人口は増加傾向にあり、平成 27 年には高齢化率が約 38%となっています。

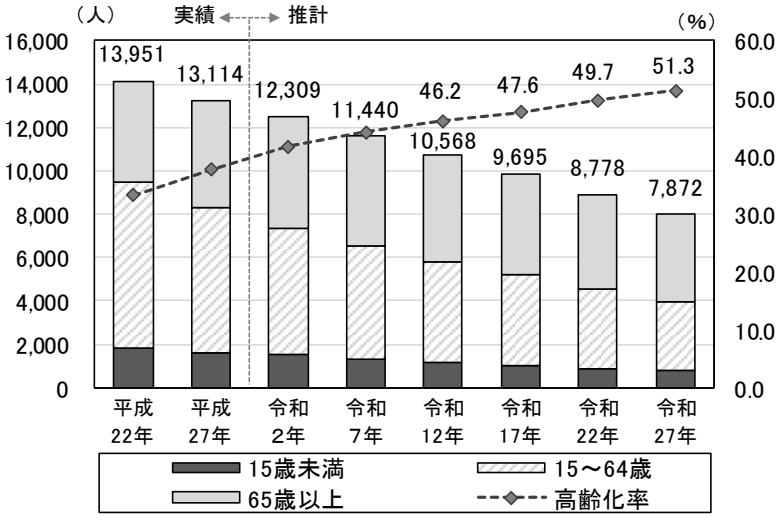
将来推計についてみると、総人口は減少の一途をたどり令和 27 年には 7,872 人と半数近くに減少する見込みとなっています。一方、高齢化率は上昇し続け、令和 27 年には 51.3%の見込みとなっており、町民の２人に１人以上が 65 歳以上になると予測されています。

■総人口・年齢３区分別人口の推移



出典：国勢調査　※合計人口は3区分別人口の合算を表示しているため総人口とは一致しない場合があります。

■総人口・年齢３区分別人口の将来推計



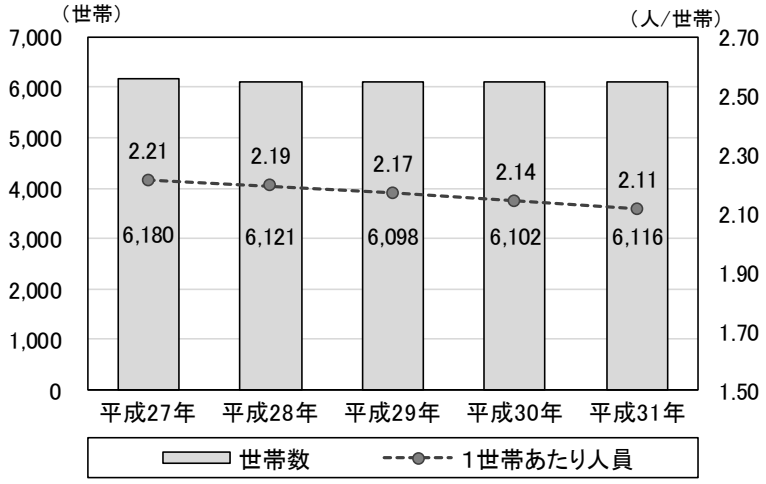
出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」

（２）世帯の状況

世帯数の推移をみると、平成 29 年までは減少傾向にありましたが、平成 30 年以降わずかに増加しており、平成 31 年では 6,116 世帯となっています。

１世帯あたり人員の推移をみると、減少傾向にあり平成 31 年では 2.11 人となっています。

■世帯数・１世帯あたり人員の推移



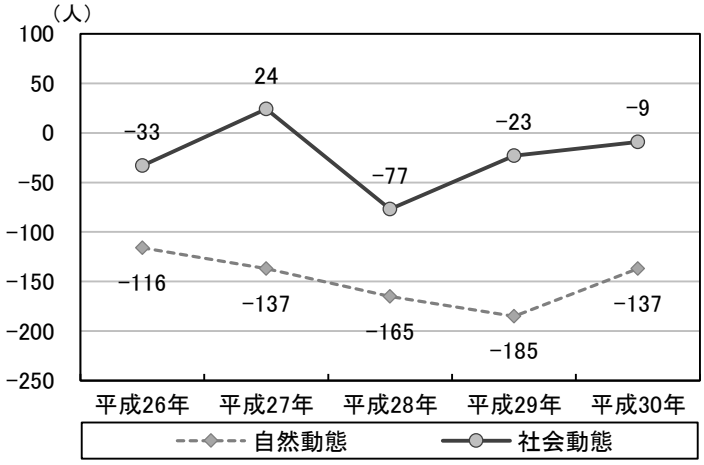
出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年1月1日現在）

（３）自然動態・社会動態

自然動態の推移をみると、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、平成 30 年では前年より改善はされたものの-137 人となっています。

社会動態の推移をみると、平成 27 年には転入数が転出数を上回っているものの、平成 28 年には再び転出数が転入数を上回る社会減の状態となり、平成 30 年では－９人となっています。

■自然動態・社会動態の推移



出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（各年1月1日現在）

2　学校教育の現状

（１）未就学児童数の状況

未就学児童数の状況をみると、町中央部及び斗賀野小学校区は人数が多くなっていますが、その他の周辺部は各年齢とも 10 人を切っています。

■未就学児童数の状況（小学校校区別：令和元年 11 月１日現在）　単位:人

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計
佐川小学校	15	41	44	33	52	56	55	296
斗賀野小学校	12	14	28	18	14	29	19	134
尾川小学校	1	1	1	2	0	5	4	14
黒岩小学校	2	3	3	4	5	4	6	27
加茂小学校	2	4	4	4	4	6	8	32
合計	32	63	80	61	75	100	92	503

出典:佐川町住民基本台帳

（２）保育所（園）児数の状況

保育所（園）児数の状況をみると、上記未就学児童数と同じ傾向にあります。また、町中央部よりも周辺部の保育所（園）において、地区外からの利用が多い傾向にあります。

■保育所（園）児数の状況（令和元年 11 月１日現在）　単位:人

区分		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
黒岩中央保育所	地区内	2	3	3	4	4	6	22
	地区外	3	1	1	4	0	4	13
	町外	1	0	0	0	0	0	1
	合計	6	4	4	8	4	10	36
永野保育所	地区内	1	7	2	3	3	3	19
	地区外	2	1	1	2	3	4	13
	町外	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	8	3	5	6	7	32
佐川町若草保育園	地区内	6	13	19	22	26	15	101
	地区外	0	1	0	0	1	0	2
	町外	0	1	0	0	0	0	1
	合計	6	15	19	22	27	15	104
花園保育園	地区内	7	12	6	15	16	20	76
	地区外	1	0	2	0	3	0	6
	町外	0	0	1	0	0	0	1
	合計	5	8	16	19	19	13	83
斗賀野中央保育園	地区内	3	17	11	10	18	15	74
	地区外	3	5	4	5	7	1	25
	町外	1	1	0	1	0	1	4
	合計	7	23	15	16	25	17	103
尾川中央保育園	地区内	1	1	1	0	5	3	11
	地区外	2	4	3	2	5	5	21
	町外	0	1	0	1	0	0	2
	合計	3	6	4	3	10	8	34
海津見保育園	地区内	2	3	3	4	6	7	25
	地区外	3	4	0	2	2	4	15
	町外	0	0	0	2	1	1	4
	合計	5	7	3	8	9	12	44
全体	地区内	22	56	45	58	78	69	328
	地区外	14	16	11	15	21	18	95
	町外	2	3	1	4	1	2	13
	合計	38	75	57	77	100	89	436

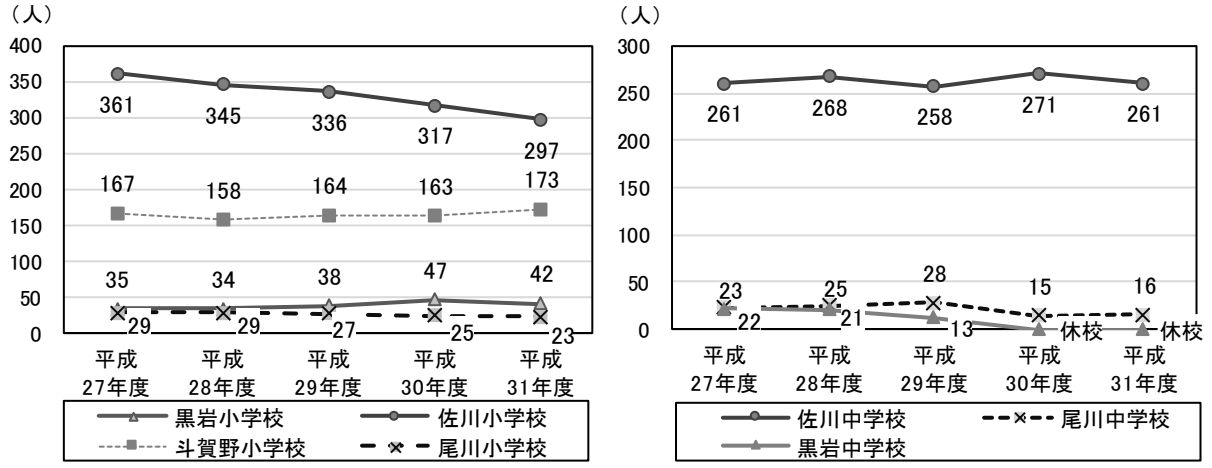
出典:佐川町健康福祉課

（３）小中学校の児童生徒数の推移

小学校児童数の推移をみると、斗賀野小学校と黒岩小学校では増減を繰り返しながら推移しており、佐川小学校と尾川小学校では減少傾向となっています。平成 31 年度と平成 27 年度を比べると佐川小学校では 64 人減少しています。

中学校生徒数の推移をみると、佐川中学校・尾川中学校ともに、増減を繰り返しながら推移しています。黒岩中学校は平成 30 年度で休校となっています。

■小中学校の児童生徒数の推移（令和元年５月１日現在）



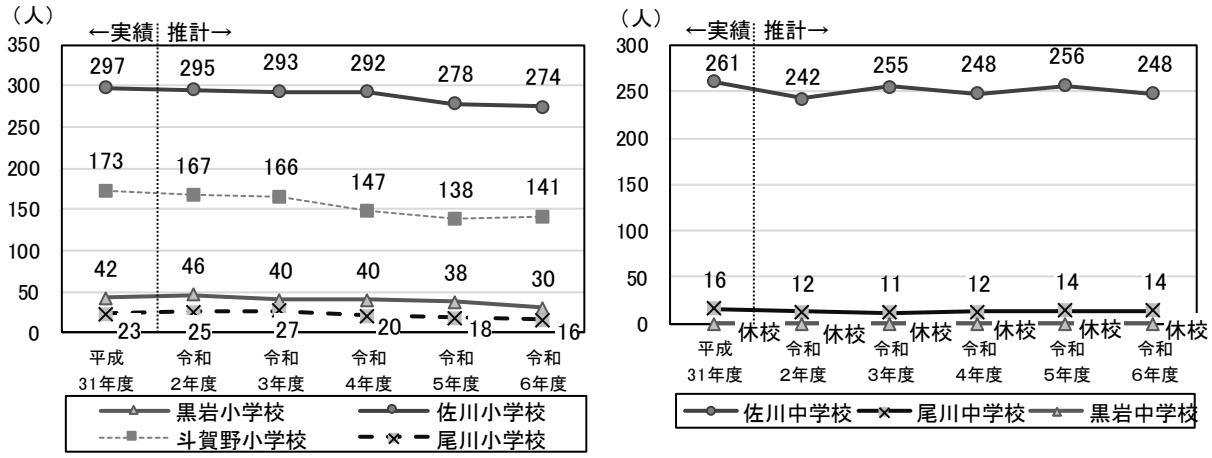
出典：佐川町教育委員会

（４）小中学校の児童生徒数の推計値

小学校児童数の推計値をみると、もっとも減少率の高い小学校は尾川小学校で、令和６年度には平成 31 年度より約 30%の減少率となる見込みです。

中学校生徒数の推計値をみると、いずれの中学校も減少傾向にあり、もっとも減少率の大きい中学校は尾川中学校で、令和６年度には平成 31 年度より約 13%の減少率となり、14 人になる見込みです。

■小中学校の児童生徒数の推計値（令和元年度推計値）



出典：佐川町教育委員会

※推計値の前提条件

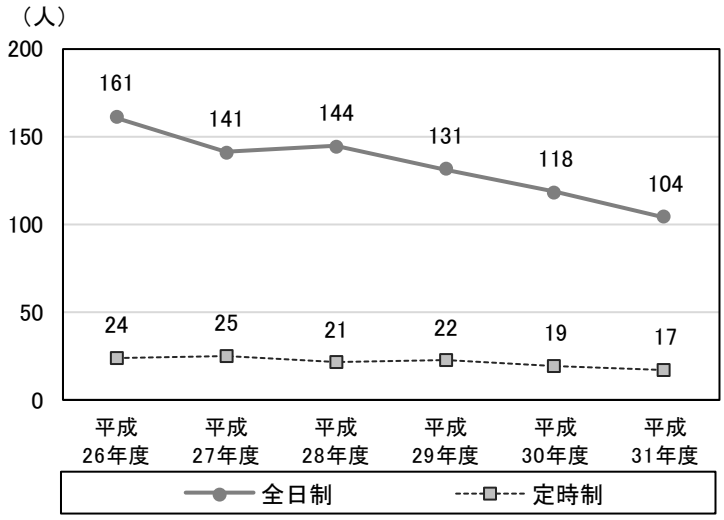
・小学校：未就学児童全員が校区内の学校に入学する。

・中学校：佐川中は佐川小・斗賀野小から私学への進学者 10 人（過去5年の平均値）を除いた数。
尾川・黒岩中は小学校から全員入学する。

（５）佐川高校の生徒数の推移

佐川高校生徒数の推移をみると、全日制、定時制ともに減少傾向にあり、全日制では、平成31年度には104人となっており、平成26年度より約35%の減少率となっています。

■佐川高校の生徒数の推移（各年５月１日）



出典:高知県立佐川高等学校

3　社会教育の状況

（1）町立図書館

町立図書館の利用状況についてみると、入館者数、図書館貸出利用者数、貸出冊数すべて、増減を繰り返しながら推移していますが、平成 30 年度の子どもの貸出冊数において、平成 26 年度からの５年間の中で、もっとも多い 13,270 冊となっています。

■町立図書館の概要

施設概要（㎡）	延床面積	277	蔵書冊数（冊）	合計	31,334	登録者数（人）	合計	2,844
	閲覧室・書庫	223		一般図書	19,029		大人	1678
	その他	54		児童書	12,305		子ども	1,166

■利用状況の推移

	入館者数（人）			図書館貸出利用者数（人）			貸出冊数（冊）		
	子ども	大人	合計	子ども	大人	合計	子ども	大人	合計
平成 26 年度	3,279	9,057	12,336	2,339	6,963	9,302	10,653	15,984	26,637
平成 27 年度	3,675	9,211	12,886	2,157	7,386	9,543	11,466	17,329	28,795
平成 28 年度	2,683	8,936	11,619	2,148	6,816	8,964	10,884	15,780	26,664
平成 29 年度	2,823	8,912	11,735	2,274	6,806	9,080	11,290	15,398	26,688
平成 30 年度	3,200	9,943	13,143	2,528	7,221	9,749	13,270	14,948	28,218

出典：佐川町立図書館

（2）社会教育施設

社会教育施設等の利用状況の推移についてみると、地質館や青山文庫等の展示集客施設は一定の利用者数を維持していますが、貸館事業は減少し続けています。

■利用状況の推移　　単位：人

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
文化センター	13,693	12,814	15,696	13,700	14,805
桜座	22,063	20,589	20,200	19,886	14,753
地質館	10,622	11,457	13,559	11,647	12,116
青山文庫	4,180	5,226	4,237	7,987	6,868

出典：佐川町教育委員会

4　文化・芸術の状況

文化財の状況についてみると、国指定文化財が３件、県指定文化財が８件、町指定文化財が 52 件となっています。

■文化財の状況（平成 31 年）

区分	建造物	絵画	彫刻	工芸品	無形民俗	史跡	名勝	天然記念物	合計
国指定	1	—	1	—	—	1	—	—	3
県指定	—	—	2	—	2	—	2	2	8
町指定	5	1	3	7	2	12	0	22	52
計	6	1	6	7	4	13	2	24	63

■国指定文化財一覧

名称	種別	管理者	指定年月日
木造薬師如来及両脇侍像	彫刻	大乗院	大正 5 年 8 月 17 日
不動ガ岩屋洞窟遺跡	史跡	佐川町	昭和 53 年 12 月 19 日
竹村家住宅	建造物	竹村脩	平成 19 年 12 月 4 日

出典:佐川町教育委員会

5　町民意識調査

（１）調査の目的

町民のみなさんの「ふるさと佐川町」に関する率直なご意見や「文教のまち」の認知度をお伺いし、現状を把握するとともに、さかわ未来学を学校教育及び社会教育において着実に進め、ふるさとへの愛着及び誇りを一層醸成し、佐川町をよりしあわせな町にする上での課題や必要な取組等を把握・分析することを目的に実施しました。

（２）調査概要

●調査対象者：無作為抽出した 16 歳以上の町民 2,800 人／町内の小中学生 484 人
●調 査 期 間：平成 30 年 12 月 14 日（金）～平成 30 年 12 月 24 日（月）
●調 査 方 法：[一般住民用]郵送による配布・回収／[小中学生用]学校による配布・回収

調　査　票		調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
一般住民用	16 歳以上の町民	2,800 件	930 件	33.2%
小中学生用	小学５・6 年生児童	196 件	188 件	95.9%
	中学１～３年生生徒	288 件	254 件	88.2%

（３）調査結果の表記について

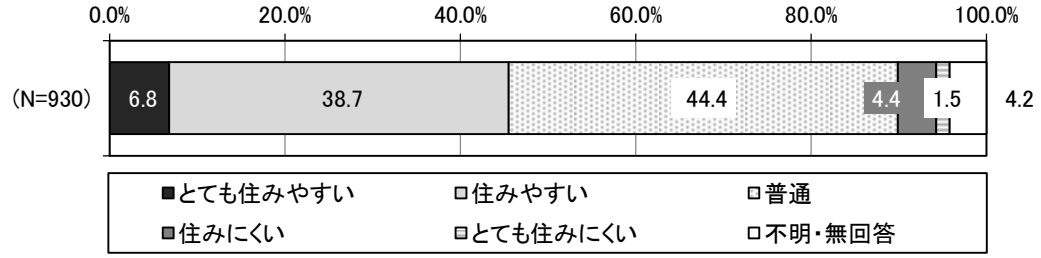
●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
●図表中の「N（number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
●図表中のクロス（表）の見方について、上位 3 位の数値（%）に網掛け、上位 1 位の数値（%）を太文字で表記しています。※一部、上位 1 位の数値（%）のみに網掛けしているものもあります。

（４）調査結果

■あなたにとって佐川町は、住みやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

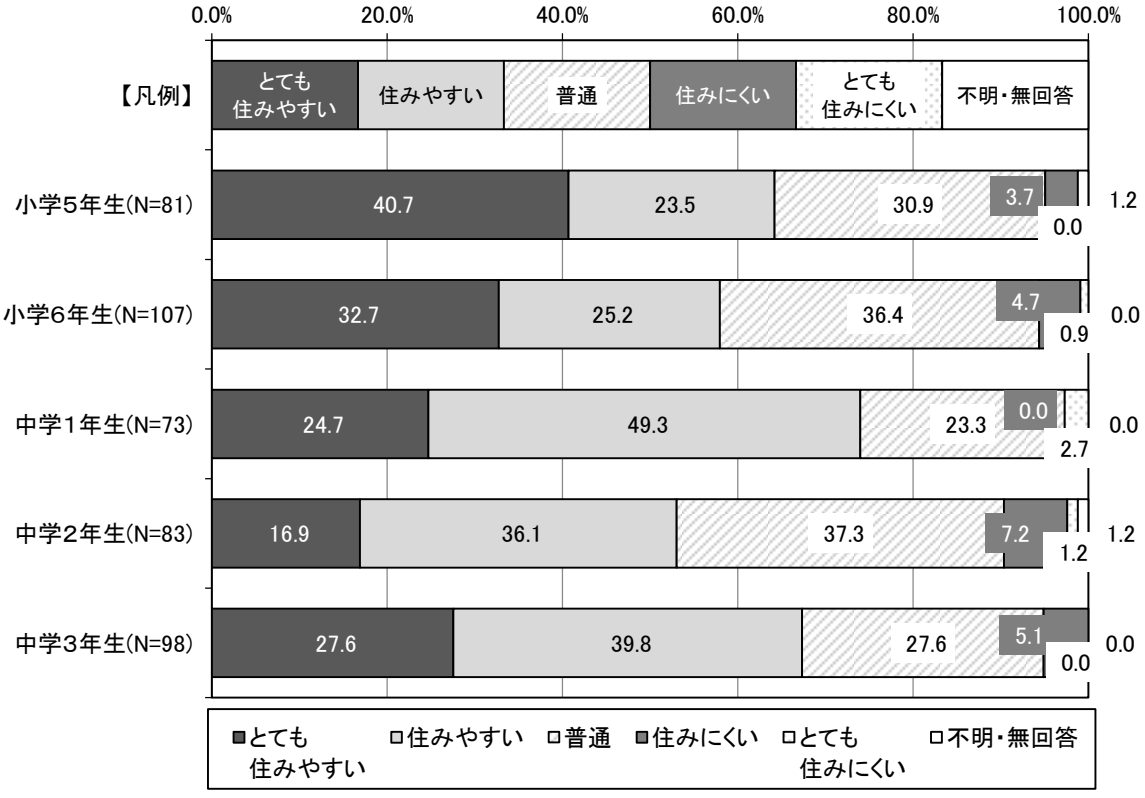
【一般住民】

「普通」が 44.4%ともっとも高く、次いで「住みやすい」が 38.7%、「とても住みやすい」が 6.8%となっており、「住みやすい」と「とても住みやすい」を合算すると「普通」をわずかに上回っています。



【小中学生】

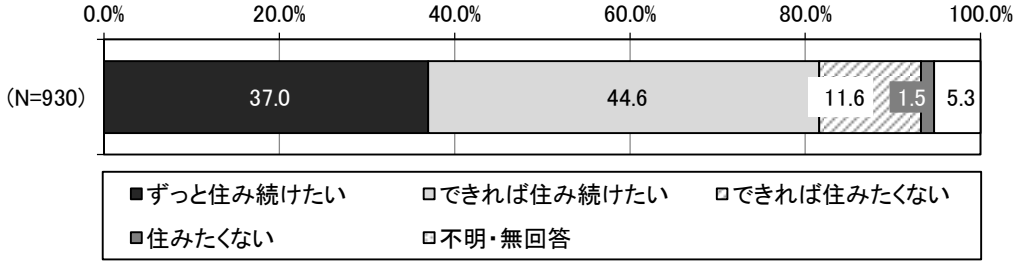
「とても住みやすい」では『小学５年生』で 40.7%ともっとも高く、次いで『小学６年生』で 32.7%となっています。「とても住みやすい」と「住みやすい」を合算した割合をみると、『中学１年生』で 74.0%ともっとも高くなっている一方、『中学２年生』では 53.0%と５割台前半となっています。



■あなたは、今後も佐川町に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

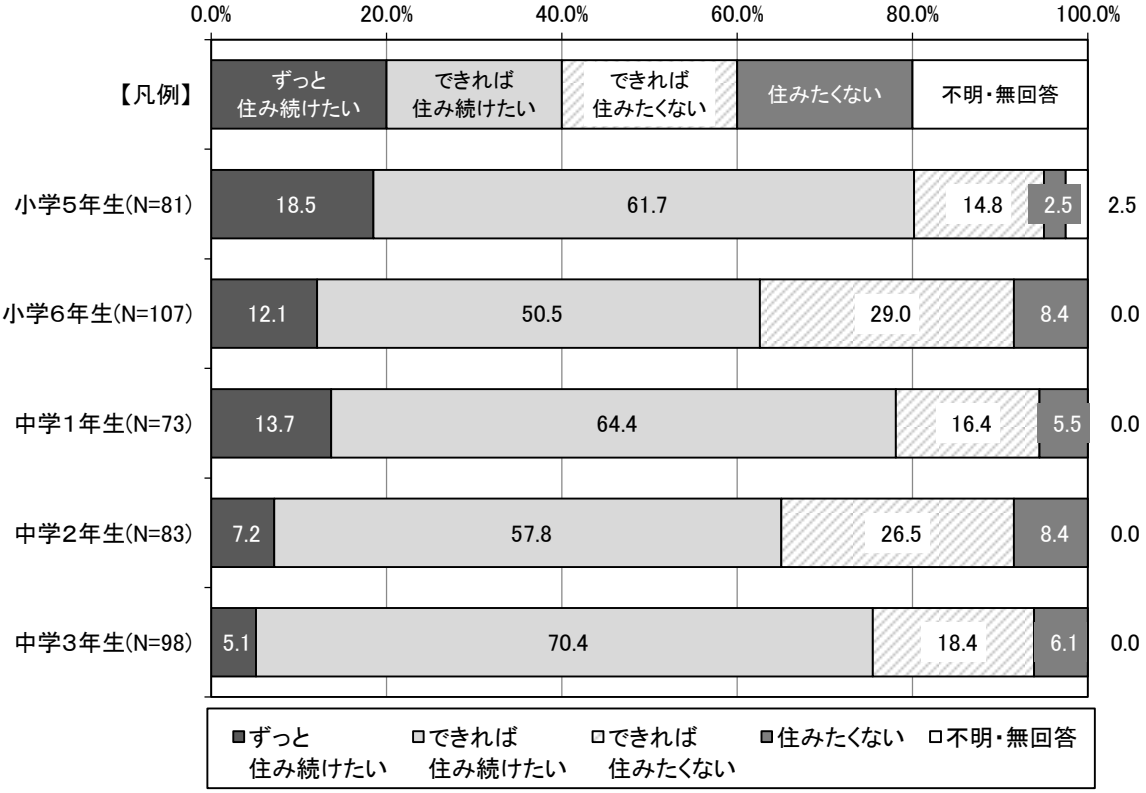
【一般住民】

「できれば住み続けたい」が 44.6%ともっとも高く、次いで「ずっと住み続けたい」が 37.0%、「できれば住みたくない」が 11.6%となっています。



【小中学生】

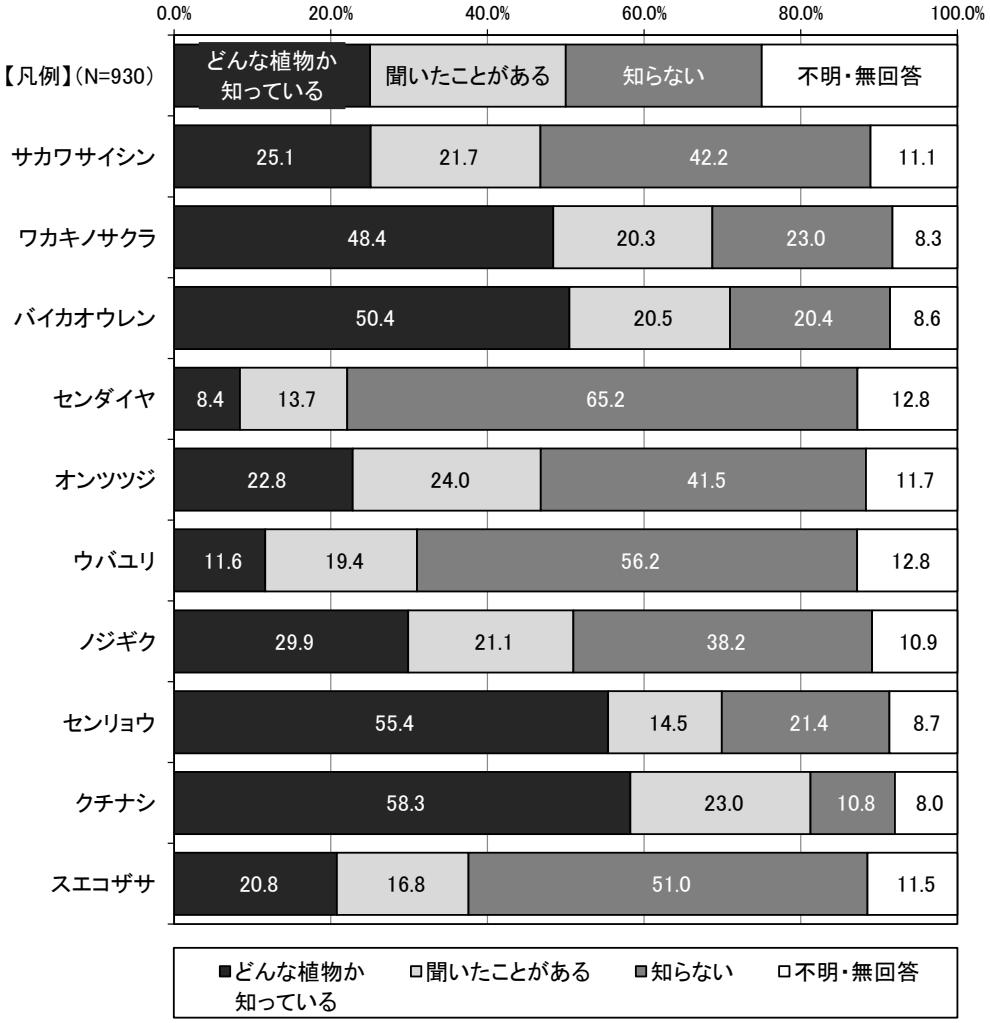
「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合算した割合では『小学５年生』で 80.2%ともっとも高く、次いで『中学１年生』で 78.1%となっています。一方、「住みたくない」と「できれば住みたくない」を合算した割合では『小学６年生』で 37.4%ともっとも高くなっています。



■あなたは、次の植物を知っていますか。（それぞれ○は１つ）

【一般住民】

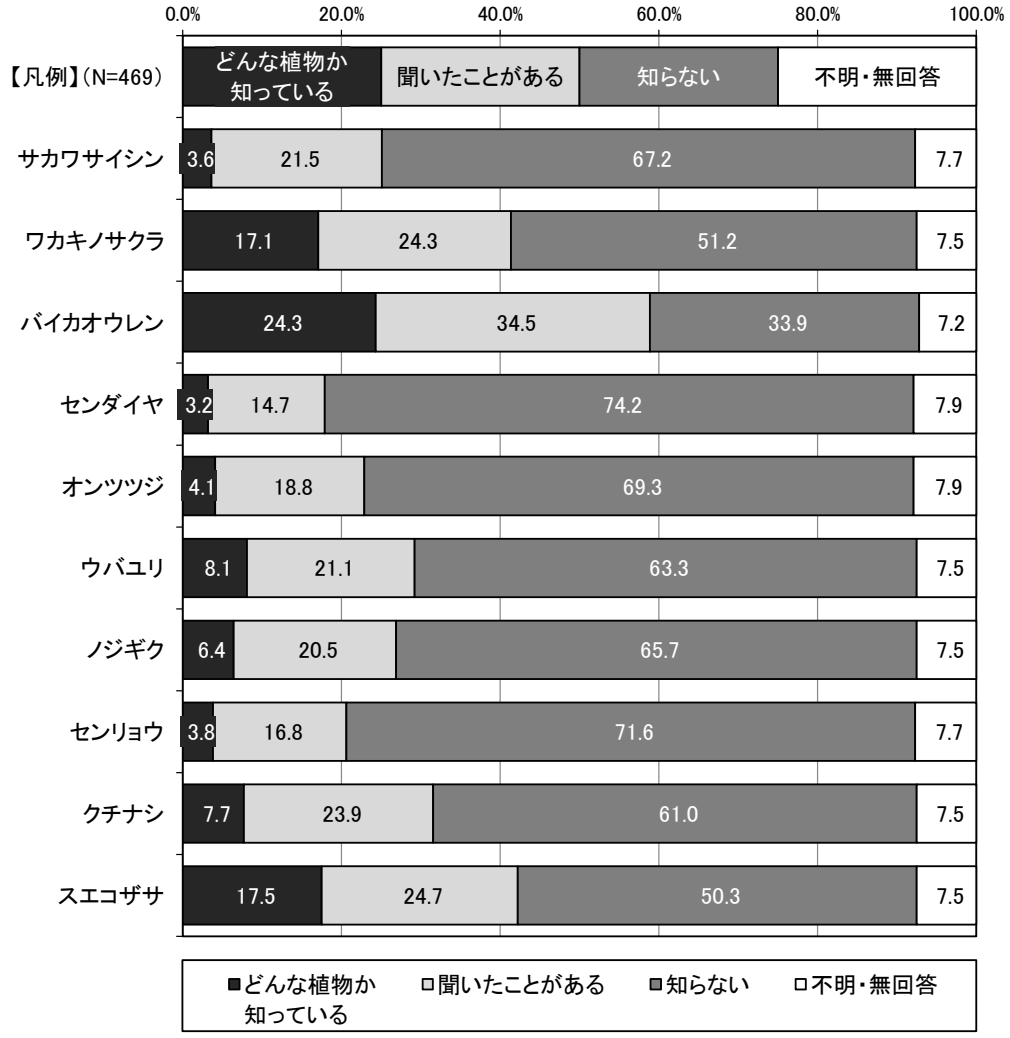
「どんな植物か知っている」では『クチナシ』が 58.3%、「聞いたことがある」では『オンツツジ』が 24.0%、「知らない」では『センダイヤ』が 65.2%と、それぞれもっとも高くなっています。



【小中学生】

小中学生全体では「どんな植物か知っている」「聞いたことがある」がともに『バイカオウレン』で 24.3%、34.5%、「知らない」が『センダイヤ』で 74.2%ともっとも高くなっています。

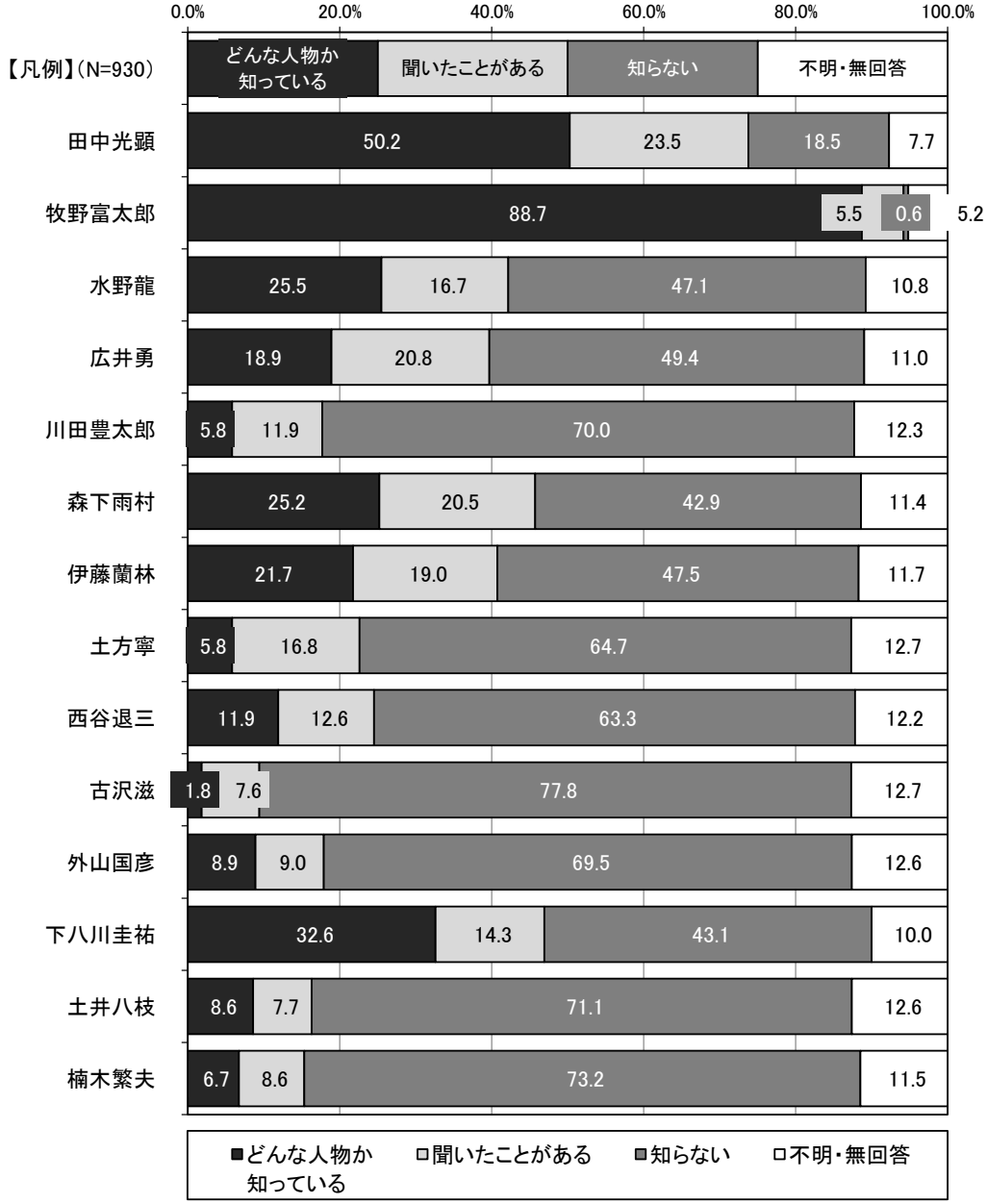
＜全体＞



■あなたは、次の人物を知っていますか。（それぞれ○は１つ）

【一般住民】

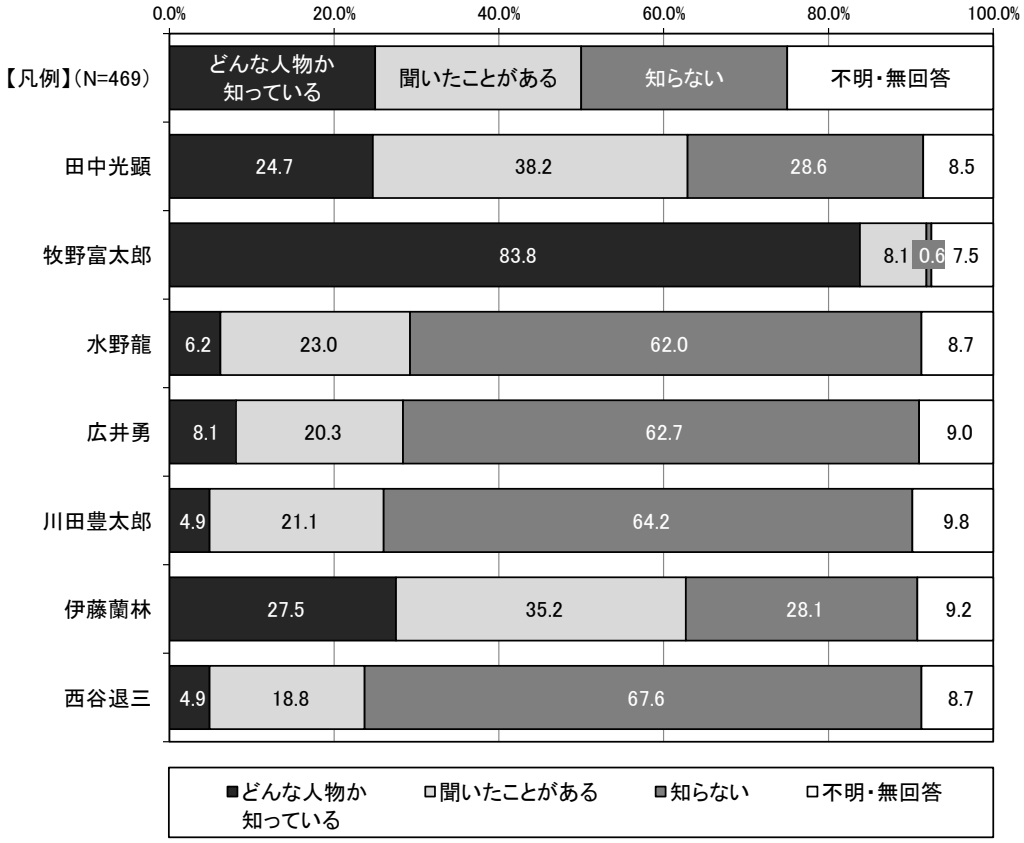
「どんな人物か知っている」では『牧野富太郎』が 88.7%、「聞いたことがある」では『田中光顕』が 23.5%、「知らない」では『古沢滋』が 77.8%と、それぞれもっとも高くなっています。



【小中学生】

小中学生全体では「どんな人物か知っている」が『牧野富太郎』で 83.8%と８割を占めています。一方、「知らない」が『水野龍』『広井勇』『川田豊太郎』『西谷退三』で６割台と高くなっています。

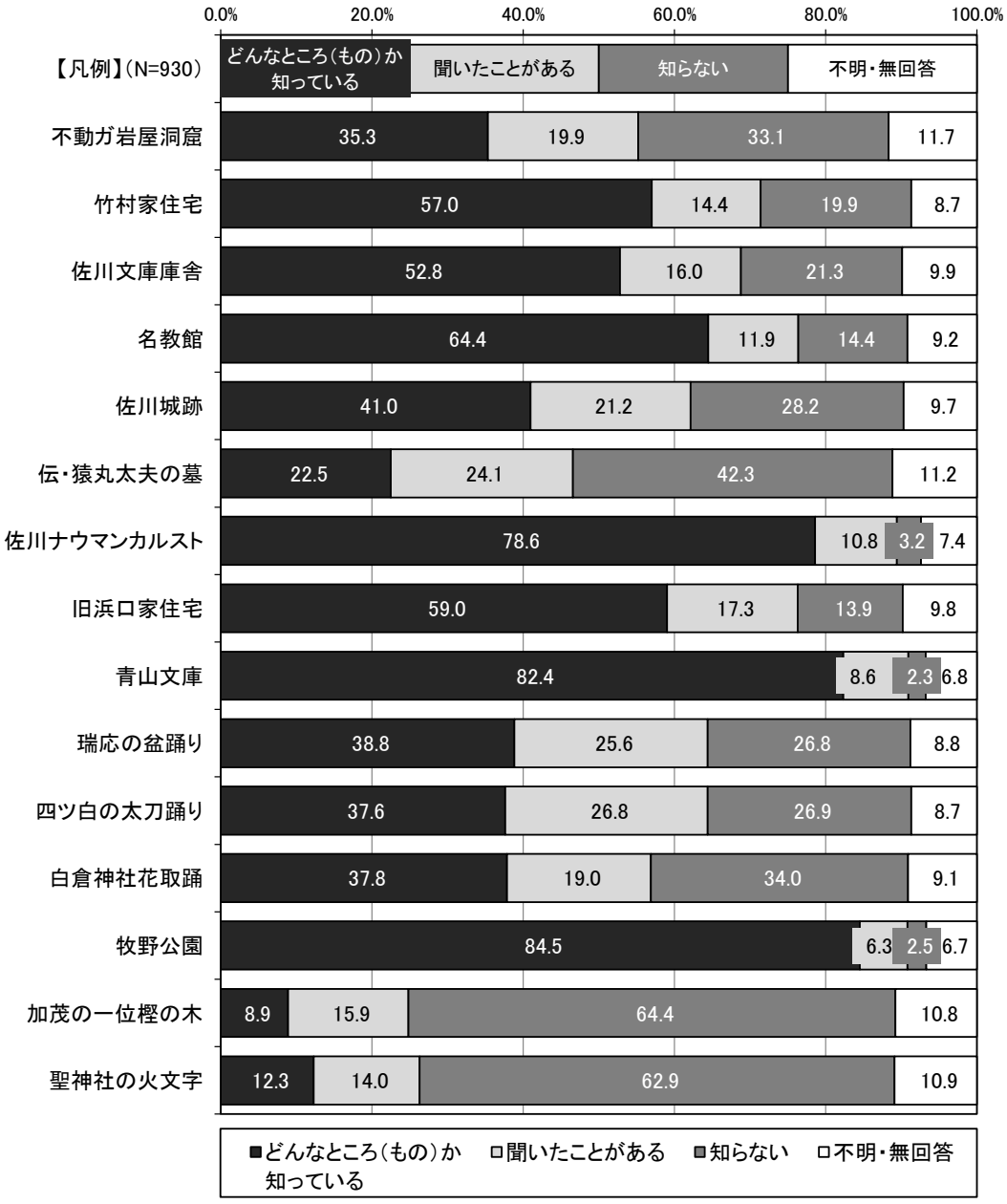
＜全体＞



■あなたは、次の文化財や建物を知っていますか。（それぞれ○は１つ）

【一般住民】

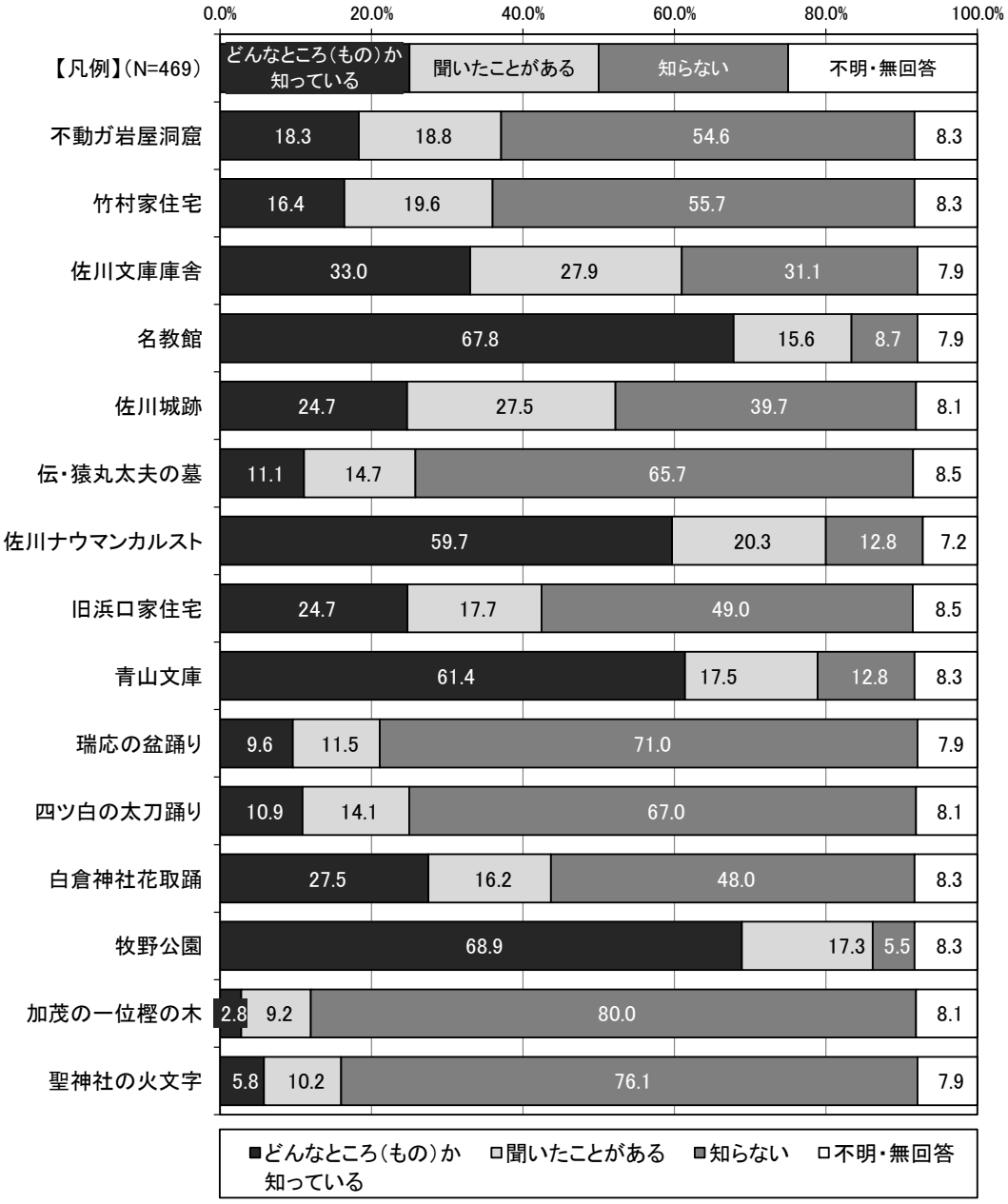
「どんなところ（もの）か知っている」では『牧野公園』が 84.5%、「聞いたことがある」では『四ツ白の太刀踊り』が 26.8%、「知らない」では『加茂の一位樫の木』が 64.4%と、それぞれもっとも高くなっています。



【小中学生】

小中学生全体では「どんなところ（もの）か知っている」が『牧野公園』で 68.9%ともっとも高く、次いで「名教館」が 67.8%、「青山文庫」が 61.4%となっています。一方、「知らない」が『加茂の一位樫の木』で 80.0%ともっとも高く、次いで『聖神社の火文字』が 76.1%、『瑞応の盆踊り』が 71.0%となっています。

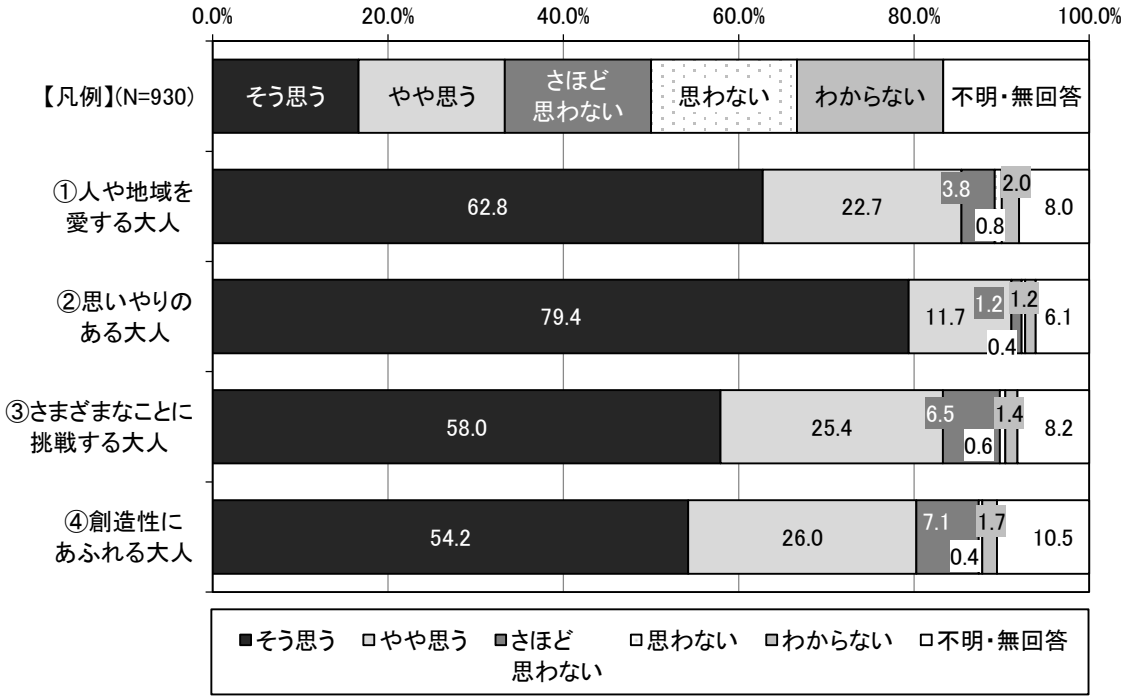
＜全体＞



■あなたは、子ども達がどのような大人になることを望みますか。（それぞれ○は１つ）

【一般住民】

「そう思う」では『②思いやりのある大人』が 79.4%ともっとも高く、「やや思う」と合算した割合では 91.1%となっています。



■あなたは、将来、就きたい職業はありますか。（○は１つ）

【小中学生】

『小学６年生』では「その他」、それ以外の学年では『わからない』がもっとも高くなっています。

上段:度数 下段:%		問4 あなたは、将来、就きたい職業はありますか。												
		合計	農業	林業	作家	芸術家	店舗経営者	IT関連	マスコミ	製造	運輸	販売	建設	金融
学年別	小学5年生	81 100.0	2 2.5	－ －	－ －	1 1.2	3 3.7	－ －	－ －	1 1.2	－ －	－ －	1 1.2	－ －
	小学6年生	107 100.0	1 0.9	1 0.9	2 1.9	1 0.9	2 1.9	－ －	－ －	－ －	1 0.9	1 0.9	1 0.9	－ －
	中学1年生	73 100.0	4 5.5	－ －	－ －	1 1.4	3 4.1	2 2.7	－ －	2 2.7	－ －	1 1.4	－ －	－ －
	中学2年生	83 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 1.2	1 1.2	－ －	2 2.4	－ －	2 2.4	4 4.8	－ －
	中学3年生	98 100.0	－ －	－ －	1 1.0	－ －	2 2.0	6 6.1	－ －	6 6.1	－ －	－ －	2 2.0	－ －

上段:度数 下段:%		医療福祉	国家公務員	地方公務員	医師	弁護士	教師	看護師	保育士	美容師	プロスポーツ選手	その他	わからない	不明・無回答
学年別	小学5年生	－ －	－ －	－ －	4 4.9	－ －	－ －	1 1.2	2 2.5	2 2.5	13 16.0	21 25.9	29 **35.8**	1 1.2
	小学6年生	1 0.9	2 1.9	2 1.9	9 8.4	－ －	1 0.9	7 6.5	2 1.9	5 4.7	12 11.2	33 **30.8**	21 19.6	2 1.9
	中学1年生	1 1.4	2 2.7	3 4.1	2 2.7	1 1.4	－ －	3 4.1	2 2.7	3 4.1	7 9.6	10 13.7	26 **35.6**	－ －
	中学2年生	1 1.2	3 3.6	7 8.4	1 1.2	－ －	5 6.0	5 6.0	3 3.6	－ －	3 3.6	16 19.3	28 **33.7**	1 1.2
	中学3年生	3 3.1	6 6.1	3 3.1	－ －	－ －	4 4.1	7 7.1	5 5.1	4 4.1	4 4.1	19 19.4	26 **26.5**	－ －

第3章　本町がめざすさかわ未来学構想

1　さかわ未来学構想の理念

（1）めざす子どもの姿

今、日本の社会はめまぐるしく変化しており、この潮流は、特に地方の自治体に厳しい現状を突きつける結果となっています。本町においてもこの流れを受けて、人口減少、若者の流出といったところから、不登校や特別な支援を要する子どもの増加、また、「文教のまち」を掲げながらも、「文教のまち」たる所以を知らない子どもが圧倒的に多いことなどの課題がありました。その一方で、子どもたちのまちへの愛着度は非常に高く、定住意向が強いという特徴が見られますが、自分の生き方や将来のビジョンを思い描く力が若干弱い傾向にあります。

本町の第２期教育振興基本計画は、「自分や他者を大切にできる、豊かな心の育成」「ふるさとに愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる人づくり」「生涯にわたり、学ぶ機会を創出し、豊かな人生を支援」を基本理念としています。また、重点行動計画では、めざす子どもの姿として、「自分を大切にする子」「支え合い、高め合うことができる子」「自律の精神を重んじる子」「ふるさとに貢献しようとする子」を掲げており、本計画においては、基本としてこれらを踏襲しながら、本町の現状や課題を踏まえ、基本理念とめざす子どもの姿を、以下のとおり定めます。

～基本理念～

- 自分や他者を大切にできる、豊かな心の育成
- ふるさとに愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる人づくり
- 生涯にわたり、学ぶ機会を創出し、豊かな人生を支援

～めざす子どもの姿～

自分を大切にする子

支え合い、高め合うことができる子

自分で決めて、自ら行動できる子

ふるさとに貢献しようとする子

■本計画のイメージ図

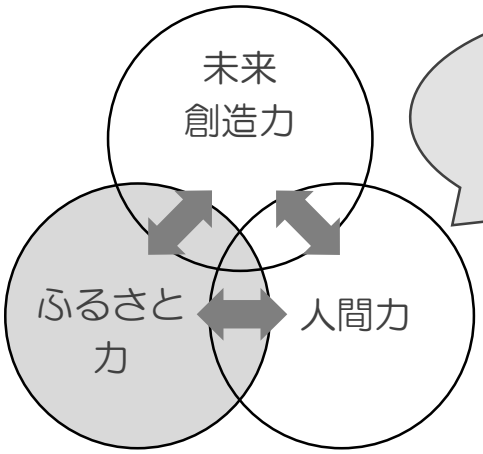
～全国的な流れ～

◇ 人口減少（少子高齢化）　◇ 地方における人口流出（特に若者）
◇ 特別な支援を要する子どもの増加　◇ 子どもの虐待・貧困問題
◇ 学力の二極化　◇ 一次産業の衰退　◇ ICT・AIの発展　　など

本町の課題

■ 人口が減少している（子どもも減少）
■ 本町のこと、地域のことを知らない子どもが多い
■ 不登校の子どもが多い
■ 特別な支援を要する子どもが増えている
■ 「文教のまち」の共通イメージ（取組）がない
■ 学校間の連携が弱い　　など

＜本町の取組＞



「３つの力」を育てて、
【めざす子どもの姿】の
実現を図る

＜目　標＞

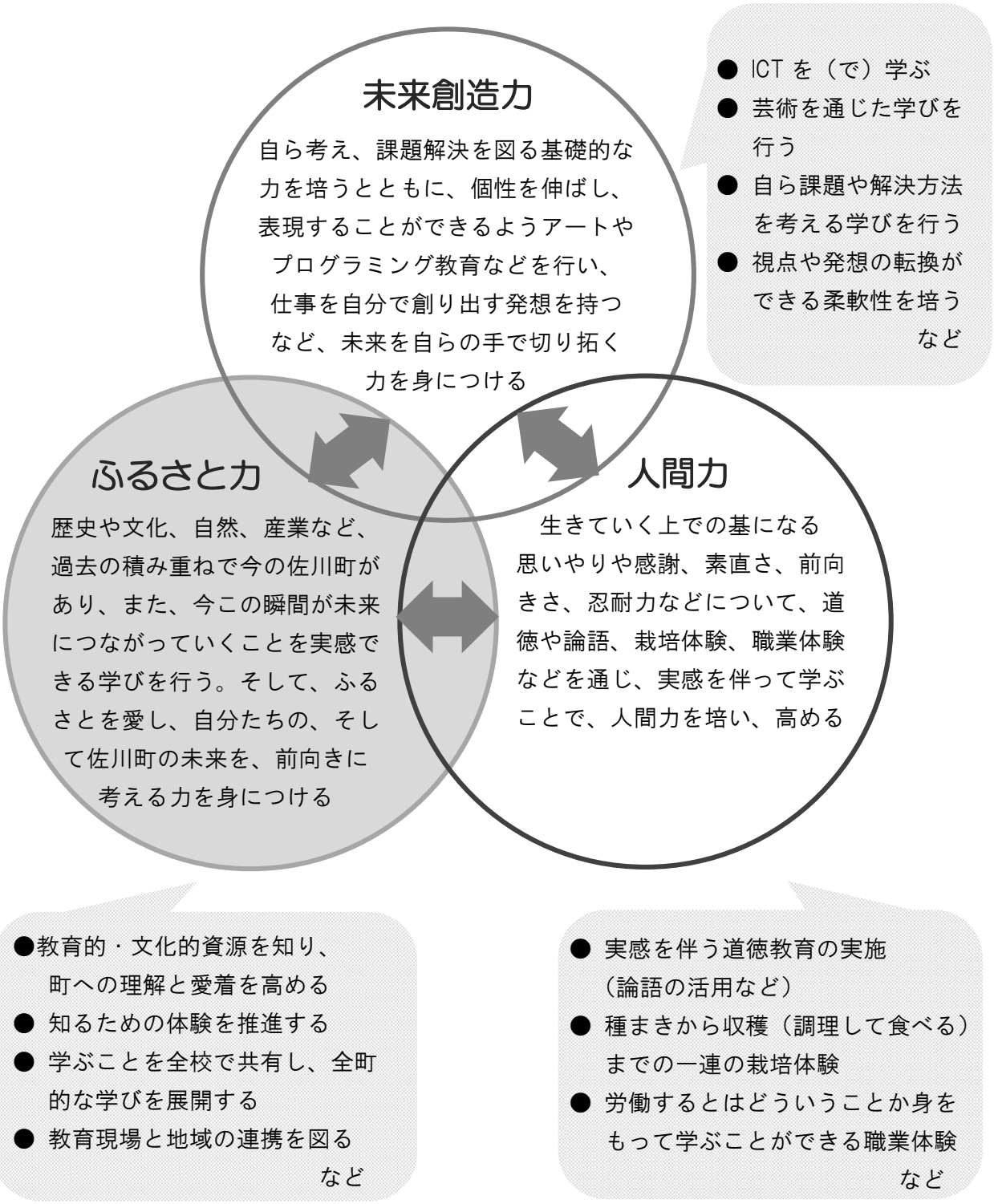
● 自分や他者を大切にできる、豊かな心の育成
● ふるさとに愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる人づくり
● 生涯にわたり、学ぶ機会を創出し、豊かな人生を支援

めざす子どもの姿

- 自分を大切にする子
- 支え合い、高め合うことができる子
- 自分で決めて、自ら行動できる子
- ふるさとに貢献しようとする子

（２）本計画で育てる３つの力

第２期教育振興基本計画の基本理念及び、重点行動計画のめざす子どもの姿の実現のため、本町では「さかわ未来学構想」により【ふるさと力】【人間力】【未来想像力】の３つの力を育てる取組を推進し、新たな時代を生き抜く力を身につけた子どもの育成を図ります。



第4章 施策の展開

1 本計画の方向性

本計画の策定にあたっては、町民意識調査や、庁内及び関係団体へのヒアリング、先進事例の視察等の各種調査結果を踏まえ、事務局が案を作成し、各小中学校の担当者会及び検討委員会で協議を行い、方向性を決定しました。

（１）本計画推進に必要な４つの要素「知る　調べる　体験する　交流する」

本計画では、単に知識を詰め込む教育ではなく、ふるさとのよさを実感することで探究的な学びにつながり、町や自分のよりよい未来のために行動できる人材育成のための教育とすることが目的です。

そのために、本計画を推進していく上で必要な要素として、まずは本町の数多くの魅力や実情を「知る」こと、次に、本当に「知る」ために自分で「調べる」こと、そして、実際に見て、触れて、実感を伴った学びとするために「体験する」こと、最後に、得た知識や情報だけでなく、学ぶ楽しさや喜びを共有することで、さらなる発展的な学びにつなげていくため「交流すること」、この「知る　調べる　体験する　交流する」の４つを掲げます。また、これらの要素について、与えられた課題をするのではなく、関心を高めることで学びたいという意欲を持ち、自分で学ぶことを決めて、実行するという学習スタイルの確立をめざします。

（２）本計画を貫く３つの＜しょく育＞「植育　食育　職育」

牧野富太郎を輩出し、まちまるごと植物園を推進している本町では、植物を通じた学びである「植育」をはじめ、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」、様々な仕事の内容と実情を知るとともに、将来の職業を見据えた学びができるような教育を行う「職育」の３つの＜しょく育＞を、本計画を貫く考え方とします。

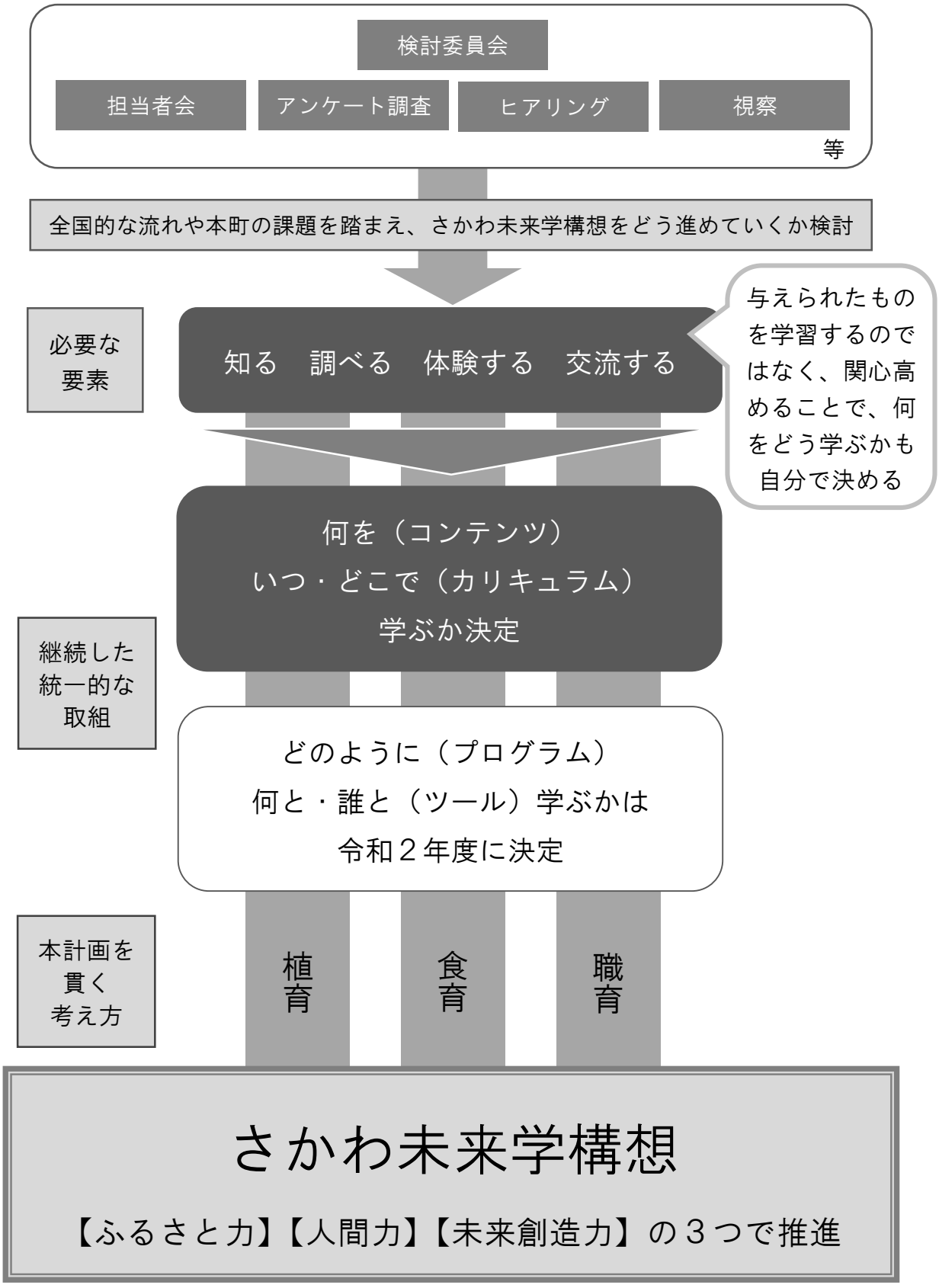
（３）学ぶこと「コンテンツ」について

本計画を実施するにあたり、何を学ぶかを検討し、93 項目の学ぶこと＝コンテンツを決定しました。コンテンツの詳細は、24 ページから 34 ページに掲載しています。

（４）いつ・どこで学ぶか「カリキュラム」について

上記コンテンツについて、学校教育において、いつ（何年生で）、どこで（何の教科で）学ぶかを、小学校・中学校別にカリキュラムとして定めました。カリキュラムの詳細は、35 ページから 39 ページに掲載しています。

■本計画の方向性のイメージ図



2　コンテンツと学ぶ目的一覧

本計画で学ぶコンテンツは大きく「歴史・文化」「自然・植育」「生活・食育」「仕事・職育」の４つの分野に分けた上で、全町共通で学ぶ『スタンダード』と、地区特性等を考慮して選択的に学ぶ『オプション』に分け、学びにメリハリをつけるようにしました。

※表内の網掛けコンテンツは、全町共通で学ぶ「スタンダード」項目。白色は地域特性等を考慮して選択的に学ぶ「オプション」項目。
※表内における☆体験とは、「体験を通じた学び」を指す。それ以外は「知識を得る学び」。

（１）歴史･文化

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
1. 佐川町の遺跡・文化財	1．不動ガ岩屋洞窟	国指定重要文化財であり、教科書で学ぶ旧石器時代の住居を実際に見ることで、歴史の長大さを学ぶとともに、想像力を育む。また、地質や地層についても関連づけて一緒に学ぶ。
	2．木造薬師如来坐像	国指定重要文化財である大乗院の薬師如来像について学ぶことで、佐川町民としての誇りを醸成するとともに、受け継がれてきた文化（財）を後世に残していく重要さを学ぶ。
	3．長宗我部地検帳	地検帳に記載されている水田と現在の水田の場所を調べたり、米の収穫量を調べたりする活動を通して、黒岩地域が昔から米作りが盛んであり、発展した地域だったことを知る。
	4．伝・猿丸太夫の墓	猿丸太夫について学ぶことで、小倉百人一首や三十六歌仙についても知ることができる。和歌という日本の文化を学ぶとともに、謎の人物とされている猿丸太夫と佐川との関わり等の学びを通じて探求心の向上を図る。
	5．佐川・斗賀野・尾川・黒岩城跡	それぞれの地区にある城跡について学ぶことで、自分たちの住む地区に対する愛着と誇りを醸成するとともに、地元に対する理解と知識を深める。
	6．松尾城跡	畝状竪堀群等の遺構を実際に見ることで、歴史に対する興味を高めるとともに、当時（近世）の日本について知見を広める。
	7．その他「佐川町の文化財」に掲載されている遺跡	自分たちの住む地区にある遺跡等について学ぶことで、地区に対する知識と理解を深めるとともに、町内の文化財とその位置関係等、全体像を把握する。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
2. 佐川町の建物・施設	1．竹村家住宅 【上町】	国指定重要文化財である竹内家住宅について学ぶことで、佐川の歴史と日本の建築技術を知るとともに、佐川町民としての誇りを醸成し、受け継がれてきた文化（財）を後世に残していく重要さを学ぶ。
	2．旧浜口家住宅 【上町】	歴史的価値の高い旧浜口家住宅について学ぶことで、佐川の歴史と日本の建築技術を知るとともに、佐川町民としての誇りを醸成し、受け継がれてきた文化（財）を後世に残していく重要さを学ぶ。
	3．佐川文庫庫舎 【上町】	歴史的文化価値の高い佐川文庫庫舎について学ぶことで、佐川文庫に関連した佐川の歴史を知るとともに、町民としての誇りを醸成し、受け継がれてきた文化（財）を後世に残していく重要さを学ぶ。
	4．青山文庫 【上町】	青山文庫の成り立ちを学ぶことで、明治以降の文教のまち佐川を支えた人々の活動の歴史を学ぶ。また、歴史に興味を持つ入口として、青山文庫についてまず知る。
	5．名教館 【上町】	文教のまち佐川のシンボルである名教館で実際に学ぶことで、名教館が輩出した偉人を身近に感じるとともに、学びに対する高い意識を引き継いでいく。
	6．司牡丹の酒蔵 【上町】	佐川における酒造りの歴史だけでなく、酒造りについて知ることで、日本文化を学ぶとともに、第六次産業についての学習につなげる。
	7．青源寺 【上町】	深尾氏の菩提寺である青源寺について学ぶことで、佐川の変遷を知るとともに、神社仏閣及び日本庭園について知見を広める。
	8．乗台寺	寺歴の古い乗台寺について学ぶことで、佐川の変遷を知るとともに、神社仏閣及び日本庭園について知見を広める。
	9．山崎記念天文台	再開した山崎記念天文台を活用し、天文学への関心の向上を図る。
	10. 金峰神社	牧野博士が幼少の頃、植物への興味を広げていったのが金峰神社の境内とされていることから、牧野博士と同じように植物採集を行うことで、そのルーツを知る。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
3．佐川町の人物	1．田中光顕 【政治】	認知度は高い田中光顕だが、その功績や人となりはあまり知られていない。田中光顕について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	2．牧野富太郎 【学問（植物学）】	佐川が誇る文教人の筆頭である牧野富太郎について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	3．伊藤蘭林 【教育】	佐川が誇る文教人の育ての親ともいえる伊藤蘭林について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	4．水野龍 【経済（実業家）】	佐川が誇る文教人で移民の父である水野龍について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	5．広井勇 【産業（工学）】	佐川が誇る文教人で日本近代土木の先駆者である広井勇について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	6．下八川圭祐 【音楽家】	佐川が誇る文教人でオペラ界の第一線で活躍した下八川圭祐について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	7．川田豊太郎 【まちづくり】	佐川が誇る文教人で図書館事業のさきがけである川田豊太郎について、知識と理解を深めるとともに、佐川町にどのように貢献したかを知り、学びへの意欲を高める。
	8．山口智 など、スポーツ・芸能・芸術分野における出身者	スポーツや芸能・芸術分野等で夢を叶え、活躍した（している）出身者を知ることで、目標を持つことの大切さを学ぶ。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
３．佐川町の人物	９．森下雨村	佐川が誇る文教人の一人である森下雨村について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	10．土方寧	佐川が誇る文教人の一人である土方寧について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	11．西谷退三	佐川が誇る文教人の一人である西谷退三について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	12．古沢滋	佐川が誇る文教人の一人である古沢滋について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	13．外山国彦	佐川が誇る文教人の一人である外山国彦について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	14．土井八枝	佐川が誇る文教人の一人である土井八枝について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	15．楠木繁夫	佐川が誇る文教人の一人である楠木繁夫について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。
	16．山崎正光	佐川が誇る文教人の一人である山崎正光について、名前と顔、生きた時代、功績等を知ることで、文教のまち佐川の誇りを醸成し、学びへの意欲を高める。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
4. 佐川町の伝統行事	1．瑞応の盆踊り	黒岩地区において、約 400 年の歴史を持つ瑞応の盆踊りを受け継ぎ、次代に継承する。
	2．四ツ白の太刀踊り	黒岩地区において、長い歴史を持つ四ツ白の太刀踊りを受け継ぎ、次代に継承する。
	3．白倉（美都岐）神社花取踊	斗賀野地区において、長い歴史を持つ白倉神社花取踊を受け継ぎ、次代に継承する。
	4．聖神社の火文字	加茂地区において、長い歴史を持つ聖神社の火文字を次代に継承する。
	5．えびす祭り	佐川地区において、親しまれているえびす祭りを次代に継承する。
	6．文殊大祭	佐川地区において、親しまれている文殊大祭を次代に継承する。
	7．尾川踊り	尾川地区において、復活した尾川踊りを受け継ぎ、次代に継承する。

（2）自然･植育

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
1. 佐川町の名所・自然	1．牧野公園	植物のまち佐川のシンボルであり､核である牧野公園と教育のさらなる連携を図ることで､子どもたちが牧野公園のある佐川に住んでいることを誇れるようにするとともに､植物への関心を高める。
	2．佐川の地質（佐川地質館）	佐川がなぜ「地質のメッカ」と呼ばれるのか、その地質的な特異性を学ぶとともに、地質全般への興味の向上を図る。
	3．町の花（サカワサイシン）と町の木（ワカキノサクラ）と町の鳥（カワセミ）の名前と分布域	自分たちの住む地区で、町花や町木、町鳥がどのように生息しているかを調べることで､地区に対する知見を広めるとともに､町花､町木及び町鳥を佐川町民の誇りとして刻み込む。
	4．佐川の地質（ナウマンカルスト）	佐川がなぜ「地質のメッカ」と呼ばれるのか、その地質的な特異性を学ぶとともに、地質全般への興味の向上を図る。
	5．加茂の一位樫の木	人間の寿命を遥かに超えて生き続けている樹木について深く知ることで、植物や自然への関心を高めるとともに、その命をつなげていく大切さを学ぶ。
	6．小奥のニッポンタチバナ	牧野博士が自生のタチバナとして日本で初めて発見したものであることや､人間の寿命を遥かに超えて生き続けている樹木について深く知ることで､植物や自然への関心を高めるとともに、その命をつなげていく大切さを学ぶ。
	7．虚空蔵山（白水の滝）	虚空蔵山（白水の滝）が地区が誇る名所であることを再認識するとともに、美しい自然を後世に残す大切さを学ぶ。
	8．バイカオウレンの自生地	牧野博士に縁の深いバイカオウレンについて深く知ることで、植物や自然への関心を高めるとともに、その命をつなげていく大切さを学ぶ。
	9．諏訪の大楠（佐川の大楠）	人間の寿命を遥かに超えて生き続けている樹木について深く知ることで、植物や自然への関心を高めるとともに、その命をつなげていく大切さを学ぶ。
	10．尾川の千枚田	千枚田が地区が誇る名所であることを再認識するとともに、美しい自然や伝統的な営みを次代へつないでいく大切さを学ぶ。
	11．長谷渓谷	長谷渓谷が地区が誇る名所であることを再認識するとともに、美しい自然を後世に残す大切さを学ぶ。
	12．各地区の川	各地区にある川に生息する生き物を四季を通じて観察することで、川の豊かな環境を知り、川を守っていこうとする心を育てる。
	13．五位山緑地公園	魅力的な遊具が揃い､景観も素晴らしい五位山緑地公園の魅力を再発見するとともに、活性化のための方法を話し合い、実際に行うことで、企画・提案力と協調性の向上を図る。また、それを佐川の発信力向上につなげる。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
2. 牧野富太郎にゆかりの植物	1．植生を学ぶ	実際に自分たちで、探しながら見て回ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	2．サカワサイシン	町花であり、牧野博士が唯一出身地である佐川の名を付けたサカワサイシンを、佐川町民の誇りとして刻み込む。
	3．ワカキノサクラ	町木であり、牧野博士が尾川城跡で発見して命名した桜であるワカキノサクラを、佐川町民の誇りとして刻み込む。
	4．バイカオウレン	牧野博士を植物学へと導いた切欠であるバイカオウレンから、小さな好奇心から偉大な道が開けることへの学びにつなげる。
	5．スエコザサ	牧野博士が妻の名前をとって命名したスエコザサについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで植物への関心を高めるとともに、牧野博士の人となりについても学ぶ。
	6．ノジギク	牧野博士が命名したノジギクについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。また、ノジギクが佐川で発見されたプロセスを知ることで、新たな発見の視点を得る。〞
	7．ヤマトグサ	牧野博士が初めて命名したヤマトグサ（日本初）について、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	8．フクリンササユリ	牧野博士が命名したフクリンササユリについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	9．ジョウロウホトトギス	牧野博士が命名したジョウロウホトトギスについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	10．シハイスミレ（マキノスミレ）	牧野博士が命名し、変種にはその名前が付いているシハイスミレ（マキノスミレ）について、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	11．センダイヤ	牧野博士が命名したセンダイヤについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	12．オンツツジ	牧野博士が命名したオンツツジについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	13．ウバユリ	牧野博士が命名したウバユリについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
2. 牧野富太郎にゆかりの植物	14. センリョウ	牧野博士が命名したセンリョウについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	15. クチナシ	牧野博士が命名したクチナシについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	16. オオシマザクラ	牧野博士が命名したオオシマザクラについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	17. ヤマザクラ	牧野博士が命名したヤマザクラについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	18. ヤマシャクヤク	牧野博士が命名したヤマシャクヤクについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	19. ヤマアジサイ	牧野博士が命名したヤマアジサイについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	20. ヨシノアザミ	牧野博士が命名したヨシノアザミについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	21. センブリ	牧野博士が命名したセンブリについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
	22. ヤブツバキ	牧野博士が命名したヤブツバキについて、名前と姿、命名に至った経緯等を知ることで、植物への関心を高め、植物のまち佐川の定着を図る。
3. 自然体験	1．自然を体験	佐川の豊かな自然を身近に感じるとともに、自然の雄大さ、恐ろしさも学びながら、自然と共に生きることの大切さを知り、自然の中で生き抜く力を身につける。また、キャンプ等を通じ、町内外の子どもとの交流につなげる。
4. 栽培体験	☆体験 1．一次産業の体験	農業体験（米作り、いも作り、乳搾りなど）、お茶の農業体験（茶摘み）、林業（の間伐体験）、季節の花作り体験、栽培実験など、知識だけでなく体験として理解を深める。

（3）生活･食育

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
1. 防災教育	1．佐川町を襲った災害について（水害、震災、大火災等）	町内のどこで、どんなことが起きたかを知ることで、防災学習にも役立てる。
2. 佐川町の変遷	1．佐川町の大きな移り変わり（古代−中世−近世−近代）	佐川町に生きていた人々の姿を、不動ガ岩屋洞窟等の遺跡や数多くの文化財を使って辿ることで、自分のルーツが佐川にあることを実感し、佐川を次代につなぐ役割を担っていることを学ぶ。
	2．佐川町の近世・近代の歴史	牧野公園をはじめ、佐川城跡や青山文庫等の歴史的文化財が多く集まる奥の土居等について学ぶことで、佐川の近世･近代を中心とした変遷を学ぶ。
3. 佐川町の民話・伝説	1．佐川の昔ばなし	民話や伝承話には、その地の由来になっているものも多く、歴史を学ぶ入口として、自分たちの住んでいるところのことを知るとともに、笑い話や怪談等を通じて、読書の楽しさを知る。また、昔から語り継がれている物語を、次代に残していくことの大切さを学ぶ。
	2．佐川町の農業と食文化の関連（変遷）（山椒餅、塩納豆、きらずもちなど）	郷土料理等について知るとともに、それらを先人たちがどのように料理･加工し、今に受け継がれているかを知ることで、佐川の伝統食を受け継ぎ、次代に継承するという意識を高める。
4. 郷土料理・地産地消	☆体験 1．地元の農作物を通じた学び（お茶、にら、いちご、梨、しょうがなど）	自分たちの住んでいる地区等で採れる農作物を知るとともに、実際に作業することで、農作物を育てる大切さ、大変さを学び、人間教育につなげる。
	☆体験 2．おいしい給食から学ぶ食育	子どもたちが平日毎日口にする給食は、食育や地産地消を学ぶ絶好の機会であり、給食の改善を図ることで、家庭における食育や郷土料理の継承に波及させる。
	☆体験 3．郷土料理を学ぶ料理教室	自分たちで作ることで郷土料理に対する愛着を深め、継承していく意識を高める。また、地産食材を使うことで、豊かな食材と安全安心であることの大切さ、地産地消ならではの美味しさ等を一緒に学ぶ。

（4）仕事･職育

学び項目	コンテンツ	学ぶ目的
1. 佐川町の林業	1．佐川町の林業の現状を学ぶ	佐川の林業について､実際の仕事内容とともに収入も明確にし、仕事としての林業に関する理解を深める。
	☆体験 2．製材工場と木工作品、植林	木を植えて、育てて、切って加工するという流れの中で、環境を大切にすることと林業という仕事について学ぶ。
2. 佐川町の農業	1．佐川町の農業の歴史と現状を学ぶ	主要な産業である農業の歴史を知るとともに､実際の仕事内容とともに収入も明確にし､仕事としての農業に関する理解を深める。
	☆体験 2．農業体験（稲作）	苗を植えて、育てて、収穫して販売するという流れの中で、米づくりについて体験的に学ぶとともに､農業という仕事について学ぶ。
3. 佐川町の特産品・産業	1．特産品を知る	佐川の農産物や特産品を深く知るとともに、PR 方法を考えたり販売を行ったりすることで､それらを自分ごととして考えられるようにする。また、それを佐川の発信力向上につなげる。
	2．佐川の産業を知る	佐川にどのような産業（仕事）があるのかを知るとともに、今の学びが､将来どのように仕事につながっていくのかを明確にすることで、学びへの意欲を高める。
4. ICT産業	☆体験 1．佐川町の ICT 産業の現状を学ぶ	ICT の現状や世界の流れを学ぶとともに、ICT が佐川町内の身近なところでも活用されていることを知る。
	☆体験 2．第一次産業と ICT の組み合わせ	ICT 等を活用した最新の第一次産業を学び、第一次産業が ICT 産業の最先端を走っていることを知ることで､〇〇×ICT の可能性を学ぶ。
5. 職業・仕事体験	☆体験 1．職業体験	対価をもらう労働（仕事）がどのようなものか、その現実を体験することで、働くこと（将来）を見据えた学びができるようにする。
	☆体験 2．PR、販売体験（自分ごとに）	佐川の農産物や特産品を深く知るとともに、PR 方法を考えたり販売を行ったりすることで､それらを自分ごととして考えられるようにする。また、それを佐川の発信力向上につなげる。

3　本計画における学びの体系図

分野	学び項目	コンテンツ（スタンダード）
歴史・文化	1．佐川町の遺跡・文化財	1．不動ガ岩屋洞窟 2．木造薬師如来坐像
	2．佐川町の建物・施設	1．竹村家住宅【上町】 2．旧浜口家住宅【上町】 3．佐川文庫庫舎【上町】 4．青山文庫【上町】 5．名教館【上町】 6．司牡丹の酒蔵【上町】 7．青源寺【上町】 8．乗台寺
	3．佐川町の人物	1．田中光顕【政治】 2．牧野富太郎【学問（植物学）】 3．伊藤蘭林【教育】 4．水野龍【経済（実業家）】 5．広井勇【産業（工学）】 6．下八川圭祐【音楽家】 7．川田豊太郎【まちづくり】 8．山口智 等、スポーツ・芸能・芸術分野における出身者
	4．佐川町の伝統行事	1．瑞応の盆踊り 2．四ツ白の太刀踊り 3．白倉（美都岐）神社花取踊
自然・植育	1．佐川町の名所・自然	1．牧野公園 2．佐川の地質（佐川地質館） 3．町の花（サカワサイシン）と町の木（ワカキノサクラ）と町の鳥（カワセミ）の名前と分布域
	2．牧野富太郎にゆかりの植物	1．植生を学ぶ 2．サカワサイシン 3．ワカキノサクラ 4．バイカオウレン 5．スエコザサ
	3．自然体験	1．自然を体験
	4．栽培体験	1．一次産業の体験
生活・食育	1．防災教育	1．佐川町を襲った災害について（水害、震災、大火災等）
	2．佐川町の変遷	1．佐川町の大きな移り変わり（古代-中世-近世-近代） 2．佐川町の近世・近代の歴史
	3．佐川町の民話・伝説	
	4．郷土料理・地産地消	1．地元の農作物を通じた学び （お茶、にら、いちご、梨、しょうがなど）
仕事・職育	1．佐川町の林業	1．佐川町の林業の現状を学ぶ
	2．佐川町の農業	1．佐川町の農業の歴史と現状を学ぶ
	3．佐川町の特産品・産業	1．特産品を知る 2．佐川の産業を知る
	4．ICT 産業	
	5．職業・仕事体験	1．職業体験

4　学校教育におけるカリキュラム

学校教育においては、本計画を総合の時間だけで学ぶのではなく、各教科に関連づけて、一貫した「さかわ未来学」の実施をめざしています。そのため、コンテンツをいつ（何年生で）、どこで（何の教科で）学ぶかについて、小学校・中学校別にカリキュラムを作成しました。

カリキュラムは小学校・中学校別に全町共通とし、各教科に関連づけて学ぶことで、コンテンツのスタンダードを網羅しています。

（1）小学生

上段　：学ぶこと　　○:知る　　●:調べる　　☆:体験する　　◇:まとめる　　◎:交流する
下段　✍：学び方

教科	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語					●佐川町の過去から未来を考える ✍百年後のふるさとを守るの学習の中で学ぶ	
理科			☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞
			☆牧植物の一生を知る ✍植物を種から植えて観察する			
社会			○佐川町を襲った災害について ✍防災教育の中で知る	○☆佐川町の林業 ○✍町の林業を知る ☆✍林業体験	○☆佐川町の農業 ○✍町の農業を知る ☆✍米作り	☆歴史探訪に出かけよう ✍町の遺跡等を訪れて学ぶ
			○牧野富太郎（町の木・花・鳥） ✍わたしたちのまちの学習の中で知る	○佐川町の偉人 ✍スタンダードの8人について知る		☆新しい文化と学問 ✍町の建物等を訪れて学ぶ
			○佐川町の林業・農業・産業・特産品 ✍わたしたちのまちの学習の中で知る			☆新しい時代の幕開け ✍偉人にゆかりの場所を訪れて学ぶ
			●地域の踊り ✍地域に受け継がれる踊りを調べる			◇歴史学習のまとめ ✍町の変遷等をまとめる
						○災害から私たちを守る政治 ✍過去の災害から防災を学ぶ
英語					●自分のまちを紹介しよう ✍英語で町の紹介ができるよう調べる	◎自分のまちを紹介しよう ✍英語で町の紹介をしてみる
音楽			○佐川町の特産品 ✍茶摘みを習う授業で佐川のお茶を知る			

上段　：学ぶこと　　○:知る　　●:調べる　　☆:体験する　　◇:まとめる　　◎:交流する

下段　✍：学び方

教科	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生
図工	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞	☆牧野富太郎 ✍自由研究 ✍牧野賞
	☆秋の草花をかこう ✍地域で見つけた草花をスケッチする	☆秋の草花をかこう ✍地域で見つけた草花をスケッチする			☆自分たちの地域を描こう ✍地域の絵を描いて理解と愛着を深める	☆風景画を描こう（県展） ✍地域の絵を描いて県展に出品する
家庭科					☆お弁当をつくろう ✍特産品を使ったお弁当を作って食べる	☆お弁当をつくろう ✍特産品を使った郷土料理や正月料理を作る
道徳	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける
	☆郷土楽をはぐくむ ✍地域の踊り	☆郷土楽をはぐくむ ✍地域の踊り ✍自分のまちを大切に				☆牧野富太郎 ✍伝記等で牧野博士の生き方を学ぶ
総合（生活）	☆栽培体験 ✍サツマイモの栽培など	☆栽培体験 ✍サツマイモの栽培など	☆栽培体験 ✍（学校に応じて）	☆栽培体験 ✍（学校に応じて）	☆栽培体験 ✍米作り	☆栽培体験 ✍（学校に応じて）
	☆地域の自然にふれる ✍四季を探して地域を散歩する	☆地域の自然にふれる ✍四季を探して地域を散歩する	☆作ったものを食べよう ✍栽培したものを調理して食べる	☆作ったものを食べよう ✍栽培したものを調理して食べる	☆佐川町を紹介しよう ✍町を紹介できるように総合的に学ぶ	☆防災学習 ✍危険箇所・避難方法等について学ぶ
	☆地域の植物にふれる ✍四季を探して地域を散歩する	☆地域の植物にふれる ✍四季を探して地域を散歩する	●牧野賞の取組の事前学習 ✍牧野賞について調べる	☆佐川町の偉人 ✍校外学習で体験を踏まえて学ぶ	◇佐川町を紹介しよう ✍町を紹介できるようにまとめる	◎佐川町のパンフレットをつくろう ✍これまでの学びを活かし、各校で分野を分担して１つの「佐川町パンフレット」を作る。作る過程において学校間交流を行うとともに、成果品の発表方法なども連携して考えていく
			◇佐川町を襲った災害について ✍防災教育のまとめをする			
			●地域の踊り ✍地域に受け継がれる踊りを調べる			
			◇佐川町の自然・名所など ✍佐川町を紹介しようというテーマでまとめる			
			◎佐川町を紹介しよう ✍各校のまとめを交換・共有する			
特活・学活・学校行事	☆春の遠足　☆秋の遠足	☆春の遠足　☆秋の遠足	☆春の遠足　☆秋の遠足	☆春の遠足　☆秋の遠足	☆春の遠足　☆秋の遠足	☆春の遠足　☆秋の遠足
	☆人権道徳参観日	☆人権道徳参観日	☆人権道徳参観日	☆人権道徳参観日	☆人権道徳参観日	☆人権道徳参観日
						☆佐川町地質館 ✍防災教育等に関連して訪れて学ぶ

上段　：学ぶこと　　○:知る　　●:調べる　　☆:体験する　　◇:まとめる　　◎:交流する
下段　✍：学び方

教科	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生
その他	☆牧野公園に行こう ✍小学校6年間で1度は牧野公園を訪れる					
	☆牧野植物園に行こう ✍小学校6年間で1度は牧野植物園を訪れる					
	☆夏休み体験ツアー ✍１・２年の夏休みの課題としてスタンプラリーをしながら佐川町めぐり		☆夏休み体験ツアー ✍３・４年の夏休みの課題としてスタンプラリーをしながら佐川町めぐり		☆夏休み体験ツアー ✍５・６年の夏休みの課題としてスタンプラリーをしながら佐川町めぐり	
	○家族の仕事を知る ✍保護者等から仕事について聞く	☆おもちゃ祭り ✍１年生をおもちゃを作って歓迎する	☆地域の踊り ✍体育で地域の踊りを習って覚える	☆牧野公園でボランティアさんと交流 ✍ボランティアさんの活動に参加・交流する		○町長さんの出前授業 ✍町長から未来につながるお話を伺う
		☆昔遊び ✍昔の遊びを体験する				☆議会を見に行こう ✍議会見学から町政について学ぶ
						☆名教館で塾生体験 ✍塾生の志を知り、佐川の未来を考える
						○ようこそ、私たちの町へ ✍国語の授業に関連づけて知る
						●未来をよりよくするために ✍国語の授業に関連づけて調べる

（2）中学生

上段　：学ぶこと　　○:知る　　●:調べる　　☆:体験する　　◇:まとめる　　◎:交流する
下段　✍：学び方

教科	1年生	2年生	3年生
国語		●調べて考えたことを伝えよう『食文化』のレポート ✍地元の農産物を通じて学ぶ	◇編集して伝えよう『環境』のミニ雑誌 ✍ミニ雑誌を作る中で仕事について学ぶ
理科	○牧野富太郎やそのゆかりの植物、町花・町木・町鳥、植生等 ✍植物の生活と種類や植物のなかま分け、牧野賞等に関連づけて学ぶ		●防災教育（佐川町襲った災害について） ✍地球と宇宙の授業の中で調べる
	○佐川町の地質 ○防災教育（佐川町襲った災害について） ✍大地の変化の授業に関連づけて学ぶ		
社会	○佐川町の遺跡 ○「佐川町の文化財」に掲載されている遺跡 ✍原始―古代の日本と世界の授業に関連づけて学ぶ	○佐川町の変遷 ○佐川町の近世・近代の歴史 ✍近代の日本と世界の授業に関連づけて学ぶ	
	○長宗我部地検帳 ○佐川・斗賀野・尾川・黒岩城跡 ✍中世の日本と世界の授業に関連づけて学ぶ	○田中光顕・伊藤蘭林 ✍近代の幕開けの授業に関連づけて学ぶ	
		○牧野富太郎・水野龍・広井勇・森下雨村・古沢滋 ✍近代の日本と世界の授業に関連づけて学ぶ	
		●佐川町の林業の現状 ✍日本の諸地域①日本の西南部の授業で調べる	
		●佐川町の農業の歴史と現状・第一次産業とICT ✍身近な地域の調査の授業で調べる	
		◇佐川町の建物 ✍佐川町の建物についての学習をまとめる	
英語	●佐川町の人物（スタンダード8人） ✍スタンダード8人について英語で紹介できるように学ぶ	☆佐川町の人物（スタンダード8人） ✍スタンダード8人について英語で紹介してみる	●佐川町の遺跡　●佐川町の建物 ●佐川町の伝統行事 ✍英語で紹介できるように学ぶ
		☆佐川町の名所・自然 ✍観光ガイド（英語）の説明を聞き取る	
		☆職業体験 ✍英語を仕事で使うことをイメージできるよう学ぶ	

上段 ：学ぶこと　○:知る　●:調べる　☆:体験する　◇:まとめる　◎:交流する
下段 ✍：学び方

教科	１年生	２年生	３年生
音楽	○外山国彦・土井八枝 ✍佐川中学校の校歌に関連づけて学ぶ	○下八川圭佑 ✍「花」や「荒城の月」に関連づけて学ぶ	○下八川圭佑 ✍オペラ（アイーダ）に関連づけて学ぶ
	○瑞応の盆踊り　○四ツ白の太刀踊り ○白倉神社花取踊 ✍郷土の民謡（芸能）に関連づけて学ぶ		
美術	●牧野繁太郎 ✍牧野繁に関連づけて学ぶ		☆木造薬師如来坐像 ✍自分探しの旅の授業に関連づけて学ぶ
体育			○山口智 ✍文化としてのスポーツの授業に関連づけて学ぶ
家庭科（技術）	☆佐川町の農業　☆佐川町の特産品 ☆郷土料理・地産地消 ✍地元の食材を生かした調理をする	☆佐川町の農業　☆佐川町の特産品 ☆郷土料理・地産地消 ✍地元の食材を生かした調理をする	☆佐川町の農業　☆佐川町の特産品 ☆郷土料理・地産地消 ✍地元の食材を生かした調理をする
		☆一次産業の体験 ✍生物育成に関する技術を、一次産業を体験することで学ぶ	☆幼児の喜ぶおやつを考えよう ✍地元の食材を生かした幼児の喜ぶおやつを考え、実際に作る
		☆郷土料理を学ぶ料理教室 ✍郷土料理の歴史や作り方を学び、実際に作る	
道徳	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける	○ふるさとのこころざし ✍道徳でふるさと教育を関連づける
	○郷土の偉人 ✍スポーツ・芸術・芸能の町出身者について学ぶ	○郷土の偉人 ✍スポーツ・芸術・芸能の町出身者について学ぶ	○郷土の偉人 ✍スポーツ・芸術・芸能の町出身者について学ぶ
総合	☆プロジェクト型の「ふるさと教育」 各教科で学びを深め、自分たちで町の課題を見つけ、その解決法を考える。さらに、考えるだけでなく実際に試行し、自分たちなりの「成果」まで出す		
その他	☆佐川町の自然・植物 ✍植栽を通じて学ぶ		
	☆佐川町の伝統行事　☆佐川町の民話・伝説 ✍芸能祭を通じて学ぶ		
	☆防災教育 ✍理科の授業に関連づけて学ぶ		

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、教育委員会及び教育研究所を中心に、学校、庁内関係各課、関係団体等が密接に連携するとともに、それぞれが担うべき役割と責任を認識し、全町ぐるみで取り組めるよう、体制の構築を図ります。

2 進捗管理及び評価

本計画は全町を挙げて実施するものであり、実施状況について様々な視点でのチェックが重要であることから、現在のふるさと教育検討委員会を評価機関として位置づけ、各年度において、実施状況を点検、評価し、その結果を受けて改善を図るなど、ＰＤＣＡサイクルに基づき、計画的な進行管理を行います。

3 令和２年度の実施事業

本計画実施の前年度となる令和２年度は、本計画を実施する上で必要な教材等の作成を行うとともに、カリキュラムを各校で試行するなど、令和３年度からの計画実施に備えます。

また、本計画を学校教育だけでなく、社会教育へと波及させていくための体制の構築を図るとともに、住民への普及啓発に取り組みます。

第6章 資料編

※別添

さかわ未来学構想振興計画

発行年月：令和２年３月
発　　行：佐川町教育委員会
編　　集：佐川町教育委員会　教育研究所
〒789-1201 高知県高岡郡佐川町甲 356-2
ＴＥＬ： 0889-22-1150（教育研究所）
ＦＡＸ： 0889-22-9050